

臨床検査を通して 笑顔のある家族づくり 「惑わず」貢献を誓う！

●平成25年11月13日(水)

ホテル日航金沢 / 石川県金沢市

月間大会会場風景



大会会長の挨拶に立つ
古賀久敬支部長



来賓の日衛協吉村洋一専務理事



来賓の石川県臨床衛生検査技師会
油野友二会長



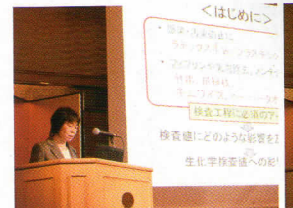
来賓の石川県健康福祉部次長
兼食品安全対策室長高本和彦氏



「血液による消化器がんのスクリーニング」について講演する丹野博氏



8名の永年勤続表彰が行われた



学術発表は2演題。フロアとの熱心な質疑が行われた

北陸支部の臨床検査普及月間大会は、例年どおり金沢市のホテル日航金沢で開催。式典に先立って、創立40周年記念行事開催時に制作された「日衛協40年の軌跡」の映像が上映されました。

式典が始まり、まず、挨拶に立ったのは古賀久敬支部長。

「日本衛生検査所協会は40周年を迎えました。人生でいえば不惑の年、惑わず、今後国民の健康を支えてまいる所存です。今年の月間大会のスローガンは、『検査とともにひろがる笑顔』です。社会構成の基

これからの努力を惜しまず
明るい未来を勝ち取ることを決意



金沢の新しいシンボル「鼓門」。
伝統と革新を表現している

本単位は家族です。私どもは臨床検査を通して、その家族の健康を支え、笑顔のある家族づくりに貢献していかなければならないと思っています。現在は過去の努力の結果、未

来はこれからの努力で決まるといわれます。努力を惜しまず精進して、明るい未来を勝ち取りましょう」と決意を述べました。

来賓の祝辞に移り、日本衛生検査所協会からは伊達忠一会長の代理として吉村洋一専務理事が出席し、開催を祝す言葉を述べました。続いて、石川県臨床衛生検査技師会油野友二会長からは「われわれ技師会としては、チーム医療の一員としての責任を持ち、検査説明のできる臨床検査技師を目指しております。これからはますます、検査のパートナーとして、チーム医療の一員として、患者さんに寄り添い、患者さんの安心・安全のために、日衛協の皆さまと手を取り合って貢献していかなければと思っています」と祝辞がありました。

引き続き、石川県健康福祉部次長兼食品安全対策室長の高本和彦氏による来賓講

演。「最近の医療行政について」の演題で、5疾病・5事業のなかの、とくに糖尿病対策、認知症対策の現状と今後について、わかりやすくといねいに話されました。

8名の永年勤続の表彰があり、学術発表に移りました。今年度は「化学発光免疫測定法によるBNP測定試薬『ケミルミ・BNP』の基礎的検討」と「検査で使用する手袋とフイブリン除去用竹串等が検査値に及ぼす影響とその対策」の2演題。勉強会、研究会を経ての発表は、今後に大いに役立つものでした。

そして、株式会社キュービクスの丹野博代表取締役社長による特別講演へ。講演内容は「研究から臨床へ、血液による消化器がんのスクリーニング」についてで、末梢血を使つての消化器がんのスクリーニングの実際を解説されました。採血だけでがんと非がんを判別できるといふ、非常に興味深いものでした。

内容の充実した月間大会は、大きな拍手のなか、幕を閉じました。